



平成22年11月16日

各位

会社名 イーピーエス株式会社
代表者名 代表取締役 巖 浩
(コード：4282 東証第1部)
問合せ先 取締役 神宮 孝一
(TEL. 03-5684-7797)

中期計画に関するお知らせ

当社は、平成23年9月期から平成25年9月期までの3カ年の中期計画を策定いたしましたので、下記の通りお知らせします。

I. 中期計画の概要

当社グループは、CRO (Contract Research Organization) 事業、SMO (Site Management Organization) 事業を中核とする医薬品開発支援サービス事業分野における先発企業として、創業以来、一貫して本業界の発展と共に歩み、リーディングカンパニーとしての地歩を確保するに至っております。

日本における医薬品開発関連のアウトソーシングビジネスは過去約20年間の発展を経て、今や成熟期前の緩やかな成長期を迎えようとしているように思われます。一方、製薬産業の競争激化・経営効率化などを背景として、開発分野での軌跡を後追いつけるかのように、販売や製造など他の分野でのアウトソーシングビジネスが勃興しつつあります。また、国内成長の鈍化に伴い、海外での事業展開がますます重要となり、中でも新興国への本格的な進出が日本の製薬産業にとり喫緊の課題となってきた感があります。

上記を踏まえ、本中期計画においては、国内医薬品開発支援事業におけるリーディングカンパニーの地位確立を一層進めるとともに、その延長あるいは周辺としての新たな製薬産業支援事業を創出し、特にCSO (Contract Sales Organization) 事業、IT (Information Technology) 事業の両サービスの発展を図ってまいります。また、当社グループの持つ優位性を活かしつつ、アジア地域、とりわけ中国における事業基盤を本格的に整備していく予定であります。

当社社名の由来である Ever Progressing System の精神に基づき、本中期計画を着実に遂行し、達成することによって、製薬産業、ひいてはヘルスケア産業に対する支援事業を質量ともに高めていきたいと考えております。

各事業・地域計画の概要は以下の通りです。

1. 事業別計画

1) CRO事業

国内での優位性を一層高めると同時に、中国を含めたアジア地域においてもリーディングカンパニーを目指します。

計画最終年度の売上高目標を約280億円(含む内部取引、以下同様)とし、平均増収率は11%弱となります。

2) SMO事業

業界平均を上回る成長でリーディングカンパニーの地位を確立します。同時に当社グループとの相乗効果を計りながら、医療機関向けに臨床試験以外の新たなサービスの創出に努めます。

計画最終年度の売上高目標を60億円とし、平均増収率は約14%となります。

3) CSO事業

(株)ファーマネットワークを中心にしつつ、(株)メディカルラインの持つコールセンター機能も加えて、ビジネスモデルやそれに必要な組織運営体制などを確立し、リーディングカンパニーを目指します。

計画最終年度の売上高目標を約70億円とし、平均増収率は約18%となります。

4) IT事業（医薬向け）

グループ内に分散しているIT関連のリソースを再編し、臨床試験を中心とした製薬企業向けITサービスに集中します。同時に、特に中国では医療機関向けSI（System Integration）事業を展開してまいります。

計画最終年度の売上高目標を30億円とし、平均増収率は約80%程度となります。

5) 医薬品関連事業

製薬あるいはヘルスケア関連企業、中でも日系企業とのパートナーシップを組みつつ、中国において医薬品その他ヘルスケア関連商品の開発、販売事業を進めていきます。本事業は当社グループの中核事業であるサービスとは本質的に異なっているものであり、細心の注意を払いながら展開していく考えであります。

計画最終年度の売上高目標は、ヘルスケア関連商品を中心に5億円とします。

2. 地域別計画

1) 日本

本中計においても国内市場が引き続き圧倒的に重要な位置を占めています。

CRO事業、SMO事業を中心とした開発関連領域において成長の鈍化が見込まれるとは言え、アメリカに比べれば製薬企業からのアウトソーシングの余地はまだ少なからずあると考えられます。当社グループは今まで築いてきた優位性を活かし、業界平均以上の成長を目指すことによってそれを一層高めていきます。他方、今後の成長が見込まれる事業分野として、CSO事業やIT事業の基盤確立を目指します。

計画最終年度の売上高を420億円とし、平均増収率は約14%となります。

2) 中国

中国ではCRO事業を中心に事業展開してきましたが、本中計においては今後の発展に備えるべく、適正規模の投資もしつつ、本格的な事業基盤の確立を目指します。

具体的には以下の四つに分けて進めてまいります。

i. CRO事業/SMO事業

EPSインターナショナル(株)中国現地法人の上海日新を中心に進めます。

計画最終年度の売上高目標を10億円とし、約3倍の増加を目指します。

ii. データマネジメントセンター

当社グループ並びにお取引先のデータマネジメント業務の中国へのオフショア化を実現し、コストメリットを追求します。また、今後、中国国内でのニーズにも備えます。

計画最終年度の売上高目標を10億円とします。

iii. MSI (Medical System Integration) 事業

当社グループのアドバンテージを活かし、日本の優れた医療関連システムを中国に導入してまいります。また、他の事業との相乗効果も図ります。

計画最終年度の売上高目標を10億円とします。

iv. 医薬品事業

医薬品事業は、①医家向け医薬品、②ヘルスケア商品の二つに分けて展開します。製薬あるいはヘルスケア関連企業、中でも日系企業とのパートナーシップを組みつつ、中国において医薬品その他ヘルスケア関連商品の開発、販売事業を進めていきます。本事業は当社グループの中核事業であるサービスとは本質的に異なっているものであり、細心の注意を払いながら展開していく考えであります。

計画最終年度の売上高目標は5億円とします。

以上、中国での計画最終年度売上高目標は約35億円で約7倍の増加を目指します。

3) アジア（中国以外）

E P S インターナショナル(株)の傘下で台湾、韓国、シンガポールならびにフィリピンなど、東南アジア地域を中心にCRO事業およびSMO事業を展開します。

計画最終年度の売上高目標は約8億円で、約2倍の増加を目指します。

3. その他経営施策

- 1) 取引拡大、付加価値の向上および業務効率化を図っていくグループ経営を強化します。具体的には、営業活動、採用及び人材開発、ITインフラ等のグループ内での有効、且つ、効率的な運営を推進します。
- 2) 新たなサービスと顧客を創出すべく、グループ内における相乗効果を追求する一方、他の企業とのアライアンスによる新規事業を積極的に推進します。また、必要に応じてM&Aを計画的に行います。
- 3) マネジメント層の育成を強化し、次なる成長ステージを担うマネジメント体制を構築します。

II. 数値目標

(連結)

単位：百万円

	平成23年 9月期計画	前年比 (%)	平成24年 9月期計画	前年比 (%)	平成25年 9月期計画	前年比 (%)
売上高	32,919	111.8	38,000	115.4	45,000	118.4
営業利益	4,633	104.9	5,200	112.2	6,000	115.4
経常利益	4,650	104.6	5,210	112.0	6,030	115.7
経常利益率	14.1%	—	13.7%	—	13.4%	—

(個別)

単位：百万円

	平成23年 9月期計画	前年比 (%)	平成24年 9月期計画	前年比 (%)	平成25年 9月期計画	前年比 (%)
売上高	19,210	107.0	21,400	111.4	24,000	112.1
営業利益	3,860	98.4	4,050	104.9	4,600	113.6
経常利益	4,002	98.4	4,190	104.7	4,740	113.1
経常利益率	20.8%	—	19.6%	—	19.8%	—

(注) 上記目標数値は、内部取引消去後で、消費税等は含まれておりません。

以上